

1 学年 総合的な学習の時間

1 地域応援プロジェクト～地域活性化に取り組む方の話から学ぶ～

地域の一員として地域のために何ができるかを考え実践する「地域応援プロジェクト」。その取掛かりとして、地域の課題を知り解決の方法を模索するために、地域をよく知り、地域を元気にするために活動していらっしゃる3名の大先輩からお話をうかがいました。



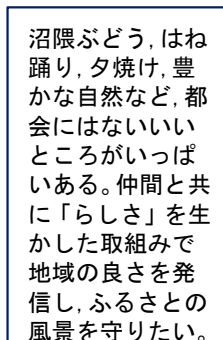
人口減少・高齢化で地域行事の維持が困難。高齢者の買い物支援や交流の場づくりをしている。歴史があり山田米など誇れるものがたくさんある。中学生は失敗をおそれず目標をもって頑張れ。

耕作放棄地をなくし、お年寄りの活躍の場を増やし、アジアの仲間と交流し、みんなが笑顔で元気になるようにしたい。できない理由を考えるのではなく、どうやったらできるかを考える。夢をもちやると決めたら100%やるのが大切。

熊野学区まちづくり推進委員会
会長 田中光洋さん



NPO 法人 くまの元気会
会長 森田豊子さん



沼隈ぶどう、はね踊り、夕焼け、豊かな自然など、都会にはないいいところがいっぱいある。仲間と共に「らしさ」を生かした取組みで地域の良さを発信し、ふるさとの風景を守りたい。

田中商店 田丸屋
オーナー 田中靖啓さん

2 福山のオンリーワン企業から学ぶ～地元企業の挑戦・仕事のやりがい・社会貢献～

福山市産業振興課の事業で、地元のオンリーワン・ナンバーワン企業の「企業訪問ツアー」を実施しました。事前レクチャーを受けたあと、常石造船株式会社・タカオ株式会社・福山通運株式会社を訪問し、常石造船では社員食堂で昼食をとりました。

企業訪問バスツアー

見学や質疑応答を通して、オンリーワン・ナンバーワンになるための企業努力、働く人たちの誇りやプロ意識を目の当たりにし、仕事をするうえで大事なことと何か、自分は将来どこでどんなかたちで社会貢献するかといったことを考えました。



常石造船は巨大な施設・機械がいっぱいで圧倒されました。



タカオは先進技術で子供を笑顔にする大型遊具を創る夢のある会社です。



物流で日本経済を支える福山通運では、荷物の仕分けシステムを見ました。

企業訪問報告会～ポスターセッションで伝えよう～

企業訪問で学んだことをチームで協力してポスターにまとめ、ポスターセッション形式で発表しました。当日は熊野小・山南小の先生方や産業振興課の方にも授業を参観していただきました。



緊張したけど、分かったことと考えたことを分かりやすく伝えられました。小学校の先生に成長したところを見てもらえたかな。

報告会を通して、ふるさと福山の産業や働くことの意義について考えたことを交流しました。20年後は福山で働いているかな？



3 ドリームマップ

7月10日、ドリームマップ普及協会から3名の講師に来ていただき、ドリームマップの授業を行いました。ドリームマップは、自分を見つめワクワクする夢を描き、ビジュアル化したマップです。夢の実現に向けどう行動するかを考えることで、実現に向けた第一歩を踏み出すための未来地図。友達と夢を語り合い、応援し合うことができました。



講師は、そらくん、さみーちゃん、やっちゃん（左から）

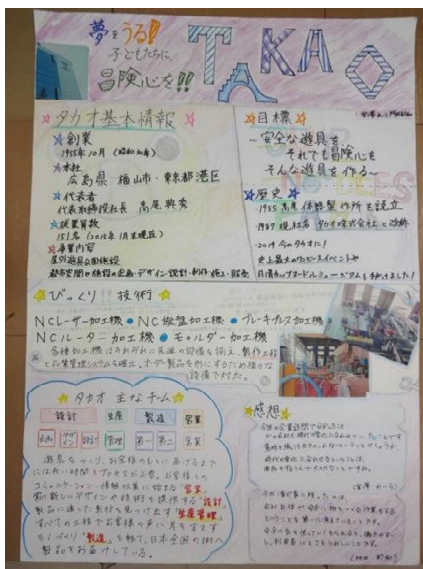
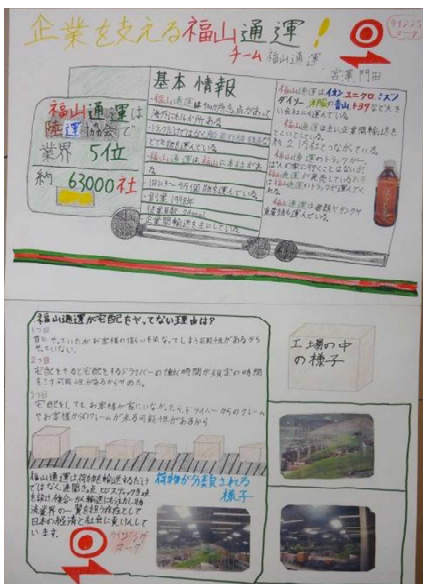


〇〇年後の自分・社会をイメージして写真や切り抜きでマップ作成



一人一人が語る夢に、みんなで拍手を送り強力なサポーターになる！

※ 「企業訪問」ポスター・「ドリームマップ」の例



4 地域応援プロジェクト～プロジェクトを企画し、企画会議で提案しよう～

2学期は前期の「課題発見」を受け、11チームに分かれて、来年度「課題解決」に取り組むプロジェクトを企画しました。企画内容は企画書にまとめ、パワーポイント（提示資料）を作成し、企画会議に臨みました。1月29日の企画会議には先行してプロジェクトに取り組んでいる2年生も参加し、投票により来年度取り組むプロジェクトを決定しました。



チームで協力して発表
どきどき！緊張感MAX！



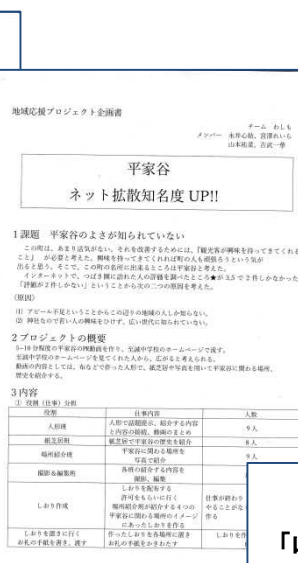
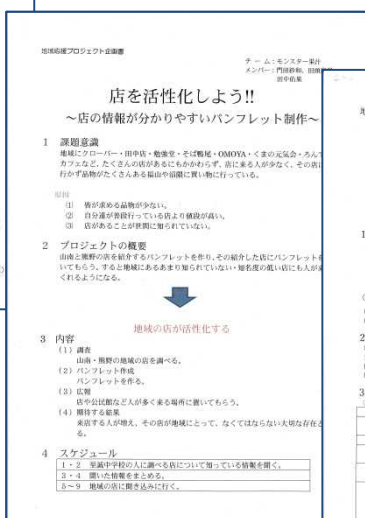
2年生も真剣に発表を聞いて、適切な
質問・アドバイスをしてくれました

単元の振り返り

- ▽プロジェクトが始まる時は、何をするのか全くイメージできなかったし、チームの話合いも進まなかったが、アイデアを出し合うことでいい案になっていった。パワーポイントは何回出しても先生にダメ出しをくらってしまったが、改良を重ねて自分が本当にしたい内容に練り上げることができた。
- ▽直前練習ではパワーポイントの最終チェックや内容が合っているかなど確かめ、伝わりにくいなと思うところは修正した。本番では人が多く緊張し頭が真っ白になり、練習みたいにスラスラできなかったけど、チームで協力してできた。2年生からもらったアドバイスを今後を生かしていきたい。
- ▽ひびき祭りなど時季によってイベントがたくさんあるから、そのようなイベントを通してたくさんの人にこの町を知ってもらいたい。そして、今までお世話になった地域の人に恩返しができるように2年生で頑張りたい。ふるさとの自然や伝統が未来でも同じように残っていてほしいと思う。

2年生の感想

- ▼総合で1年生の発表を見ました。みんな同じような計画だったので、新しいアイデアを出すことは難しいことだと分かりました。1年生の発表を見て、発表する時は大きい声できはきと話した方が伝わりやすいことが分かったので、発表する時はそれを意識していきたいです。
- ▼それぞれのチームがよく考えていてすごいなと思いました。パワーポイントもおそらく自分達で作ったと思うし、最初から最後まで自分達の力で考えたり作ったりしていたのですごかったです。けど内容がかぶっているものも多くて少し残念でした。1年生も頑張っているもので、私たち2年生もいいものがつくれるようにしたいです。



来年度のプロジェクト決定！
「山南・熊野の新たな魅力を発掘し発信」
 by チーム the 普通